

広島空港 ⓘ スクエア通信

第11号（平成30年3月27日）
（発行：広島県空港振興課）



（目次）

■ トピック	2
・ JR-WEST RAIL PASS「関西・広島エリアパス」の広島空港での販売開始	2
・ Visit Hiroshima Tourist Pass について	3
・ 広島エアポートホテルのレストランリニューアルオープン	4
・ 広島空港でチョコレートファクトリー「foo chocolaters」がオープン	4
■ コラム（航空貨物について）	5
■ 広島空港の利用状況（平成30年2月）	8
■ お知らせ	12

トピック

JR-WEST RAIL PASS「関西・広島エリアパス」の広島空港での販売開始

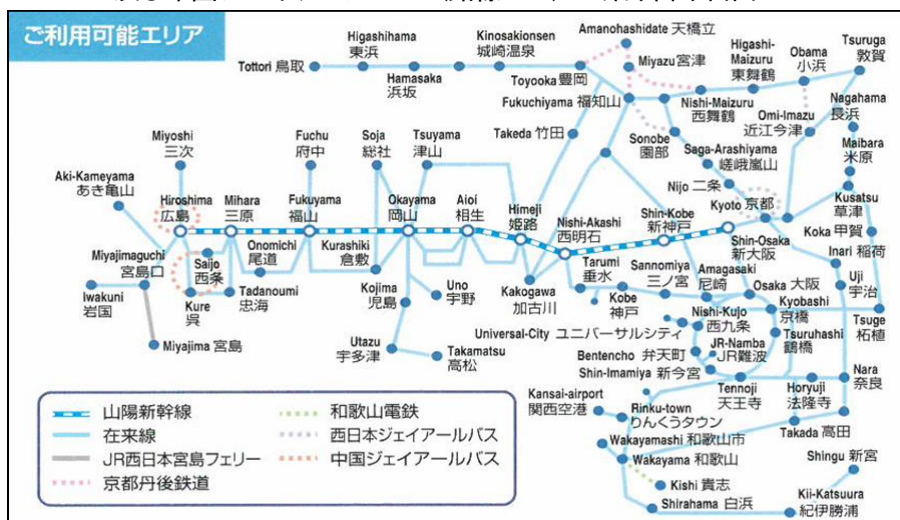
3月16日から、広島空港内でインバウンド（訪日外国人）客向けに広島や関西地区で新幹線や電車を自由に乗り降りできるフリーパスの販売が開始されました。

白市ルートと組み合わせた利用など、広島空港をゲートウェイとしたインバウンド旅客のより一層の拡大が期待されます。

- 販売開始日
平成30年3月16日（金）
- 販売箇所
広島空港 国際線案内所
(販売は JTB グループ 中国ターミナルサービス株式会社が実施)
- 営業時間
国際線各便到着時刻から 90 分間



- 販売商品の概要
 - ・商品名：「JR-WEST RAIL PASS（券種：関西・広島エリアパス）」
 - ・内容：山陽新幹線（新大阪～広島）・特急列車・普通列車（快速・新快速を含む）自由席 JR 西日本宮島フェリー、京都丹後鉄道、和歌山鉄道、エリア内の西日本ジェイアールバス及び中国ジェイアールバス（路線バス）が乗り降り自由



- ・有効期間：連続する5日間
- ・発売価格：おとな 14,500 円 こども 7,250 円
- ・購入資格：日本国以外の政府等が発行した旅券を有し「短期滞在」に該当する在留資格を有する者

(参考) 西日本旅客鉄道(株)HP

https://www.westjr.co.jp/press/article/2018/03/page_12033.html

・ Visit Hiroshima Tourist Pass について

平成 28 年 4 月から販売されている訪日外国人観光客用周遊乗車券「Visit Hiroshima Tourist Pass」が、平成 30 年度も内容を一部刷新し継続販売されます。

(概要)

○ 名称

Visit Hiroshima Tourist Pass

○ 券種

券種	販売価格	適用期間
①Small Area (広島市内・宮島エリア)	1,000円	3日間
②MIDDLE Area (広島県西部・北部+岩国エリア)	2,000円	3日間
③WIDE Area (広島県内+岩国エリア)	3,000円	3日間
④Small Area with Airport Limousine Bus (広島市内・宮島・呉エリア・リムジンバス(広島・呉))	4,000円	5日間
⑤WIDE Area with Airport Limousine Bus (広島県内+岩国エリア・リムジンバス(全路線))	6,000円	5日間

※赤字が新たに拡充された内容

※空港リムジンバスとのセット商品は④、⑤(三次・広島空港線は②にも含まれる)

○ 販売期間

平成 30 年 3 月 31 日 (土) ~平成 31 年 3 月 31 日 (日)

○ 利用範囲

主要路線バス, 高速乗合バス, 広島電鉄路面電車, 船舶(宮島航路)

※適用路線は券種により異なる。詳細は広島県バス協会HPを参照。

○ 販売場所

《現地販売》

広島空港窓口(インフォメーションカウンター), 広島駅南口交通案内所, JR広島駅新幹線口1階バスきっぷうりば(交通案内所), 広島バスセンター(3階窓口), HIROSHIMA ORIZURU TOWER TOURIST INFORMATION CENTER(おりづるタワー1階カウンター内), おもてなしホテル宮島, ゲストハウス縁

《事前販売》

WILLER TRABEL, JTB(JAPANiCAN.com), 旅行博士(韓国の旅行代理店), WENDY TOUR(シンガポールの旅行代理店)

○ 附属ガイド本

乗車券購入者には, モデルコースが掲載され, 県内の観光施設や飲食店舗等で割引が受けられる観光ガイド本「FUN PASS HIROSHIMA」を配布

(参考) 広島県バス協会HP

<http://www.bus-kyo.or.jp/>

広島電鉄(株)HP

<http://www.hiroden.co.jp/topics/2018/0327-vhttp.html>

・ 広島エアポートホテルのレストランリニューアルオープン

開業 25 年を迎える広島エアポートホテルのレストラン 2 店舗が、3 月 24 日に「森の別荘にある食の癒し空間」をコンセプトに全面リニューアルオープンしました。

2 店舗のエントランスが統合され、内装が一新されるとともに、カウンター席の新設や個室の増設、屋外ガーデンテラスの新設など、より多様なニーズに対応できるよう大きく生まれ変わりました。



レストラン「アチェロ」



日本料理「硯」



アチェロガーデン



エントランス

(参考) 広島エアポートホテル HP

<http://www.h-airporthotel.co.jp/aph/restaurant>

・ 広島空港でチョコレートファクトリー「foo chocolaters」がオープン

2 月 24 日から広島空港ターミナルビル 3 階にチョコレートファクトリー『foo chocolaters』がオープンしています。同店では、ダイレクトトレードのカシューナッツとカカオを使用したヴィーガン対応のチョコレートを販売。また、工房が併設され、焙煎から包装までチョコレート製造工程を見学することができます。

【店 舗 名】 『foo chocolaters』（フーチョコレートーズ）

【場 所】 広島空港ターミナルビル国内線 3 階

【営業時間】 朝 9:00 から完売まで

(参考) 広島空港 HP

http://www.hij.airport.jp/news/20180224_foochocolaters.html

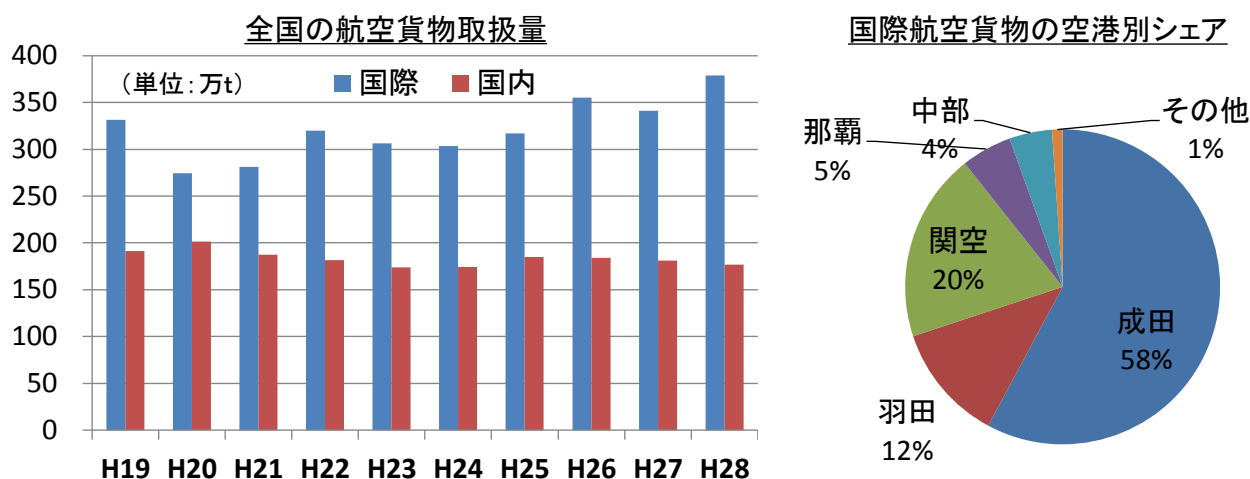
■ コラム（航空貨物について）

空港に限らず交通について考える際にまず思い浮かぶのは、旅客利用です。当メルマガのコラムでも航空路線の状況（第4号、第10号）や空港アクセスの状況（第7号、9号）など様々なテーマを取扱ってきましたが、全て「旅客利用」の視点からの内容です。

一方で空港には物流拠点としての機能もあり、広島空港でも国内・国際ともに貨物輸送が行われています。今回のコラムでは、広島空港の航空貨物の状況について紹介します。

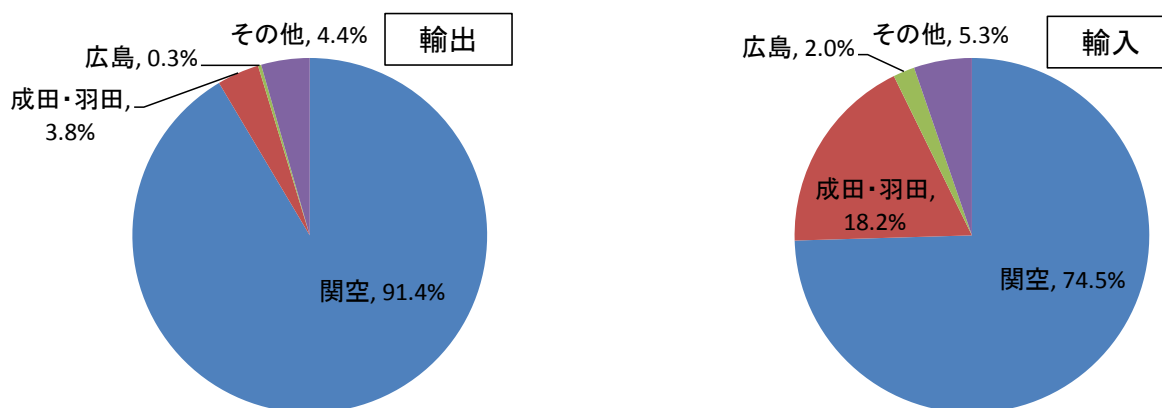
最初に、全国の航空貨物輸送の状況を見てみます。国内航空貨物は、ほぼ横ばい（あるいは漸減）で推移していますが、国際航空貨物については、旅客利用ほどの伸び率は示していないものの、増加局面にはあり、世界的にも航空貨物需要は拡大するとの予測もされていることから、一定程度の拡大は見込まれるものと考えています。

しかしながら、国際航空貨物の取扱量は、成田・羽田・関空・那覇・中部の5空港で全体の99%を占め、地方空港の状況は旅客以上に厳しいのが現状です。国際航空貨物動態調査によると、例えば、広島県を発生・集中地とする航空貨物の約9割は関空が利用され、広島空港の利用率は1%にも満たない状況にあります。（同調査によれば、関空の輸出貨物の発生・集中地は大阪府に次いで広島県が2番目となっており、同空港の輸出貨物の約13%を占めています。）



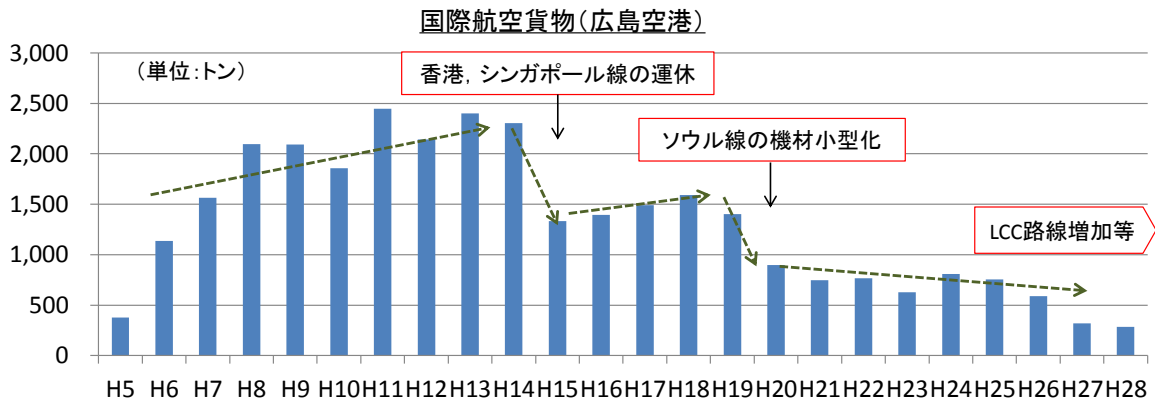
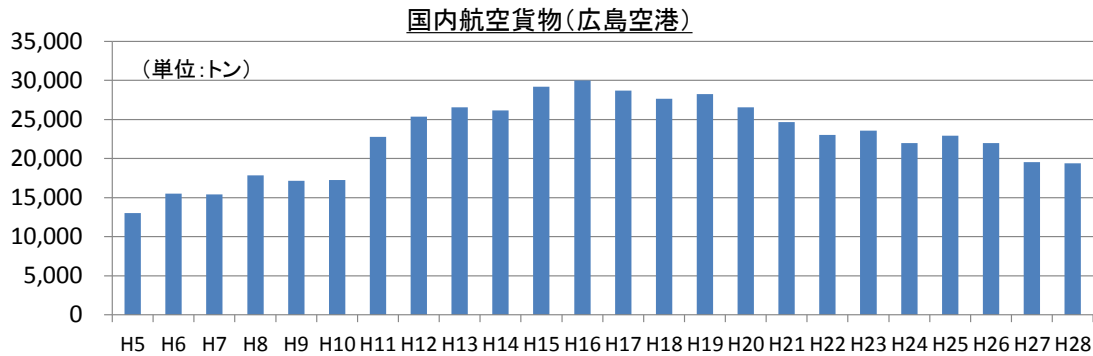
(出典)国土交通省「空港管理状況調書」から作成

広島県発生・集中貨物の利用空港



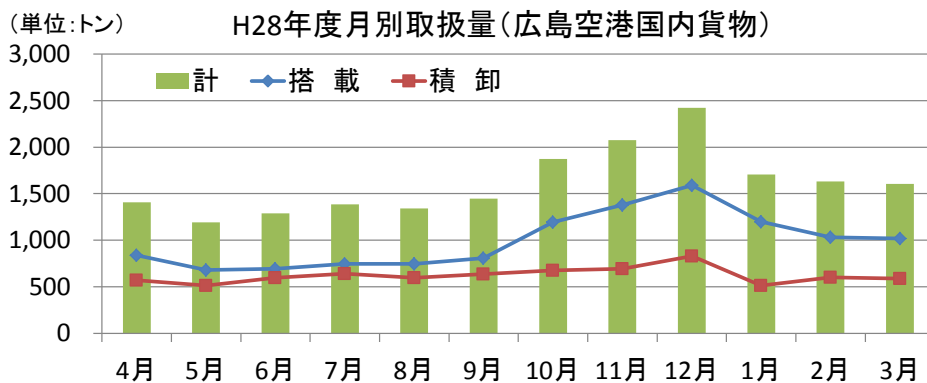
(出典)国土交通省「平成28年度国際航空貨物動態調査」から作成

広島空港の航空貨物は、平成 28 年度実績で国内貨物は年間約 1.8 万トンでピーク時(約 3 万トン)の 6 割程度、国際航空貨物に至っては年間 300 トン弱でピーク時(約 2,500 トン)の 1/10 程度まで落ち込んでいますが、このように厳しい状況に置かれていても年間約 2 万トンという貨物取扱量は地方空港レベルで見れば多い空港(全国で 10 番目)というのが航空貨物の実情です。



広島空港の状況についてもう少し詳しくご紹介します。

まず、国内貨物ですが、品目としては搭載貨物・積卸貨物ともにトラック輸送による宅配便が約 4 割を占めていますが、特徴的なのは搭載貨物の 4 割を占める水産品です。夏季は積卸貨物・搭載貨物ともに取扱量は概ね同水準ですが、積卸貨物が年間を通じて取扱量の変動が小さいのに対して、搭載貨物は冬季に増加しており、広島の特産品である「牡蠣」の取扱いが多いものと考えられます。



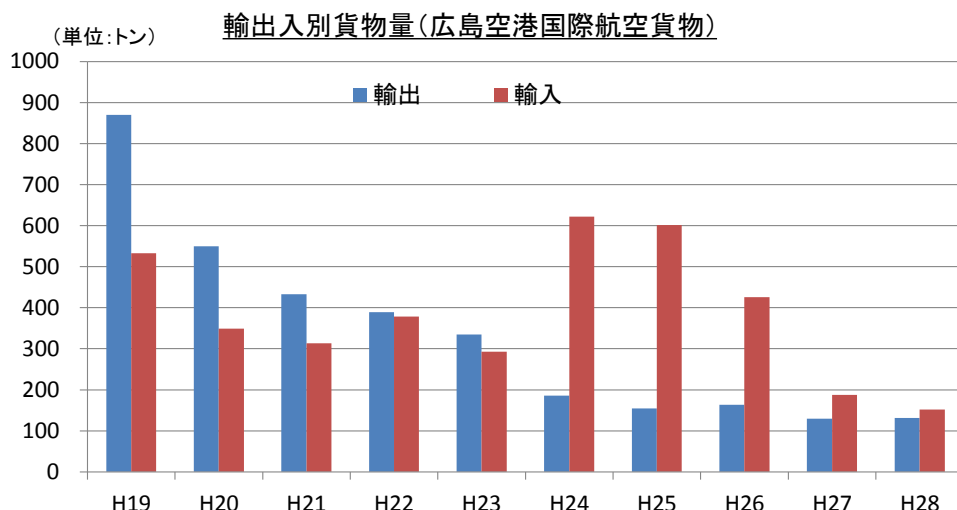
搭載	品目	宅配便 (トラック運送)	水産品	精密機械	書類・印刷物	その他の機械
	シェア	43.2%	38.4%	4.2%	3.7%	1.5%
積卸	品目	宅配便 (トラック運送)	精密機械	書類・印刷物	その他の日用品	医療用機械
	シェア	36.1%	15.4%	15.1%	7.3%	6.0%

※品目は国交省のH28年度航空貨物動態調査による(重量ベース)(なお数値は調査日(H28.11.16)のもの)

¹ 品目別のシェアの根拠として参照した「航空貨物動態調査」はH28.11.16の一日間を調査期日として行われており、年単位で見た場合の水産品のシェアは同調査結果よりも小さいものと考えられる。

次に国際貨物ですが、取扱量がピーク時の1/10程度となっていることは既に述べたとおりですが、経過としてはSARSの影響で、それまで貨物取扱量の多かった香港、シンガポール線が運休した平成15年度のタイミングと、中型機で運航していたソウル線が小型化した平成20年度のタイミングの二段階で減少しています。更に近年では貨物を取扱わないLCC路線の増加などの影響もあります。

こうした中で、特に減少したのは輸出貨物です。元々広島空港の国際貨物は輸出が輸入を上回っていましたが、現在では輸入を下回っています。



国際航空貨物動態調査によると、平成28年度においても、広島県を発生・集中地とする国際貨物のうち輸出の貨物量は輸入の3倍強ですので、輸出貨物そのものの減少が原因とは言えません。先ほどご紹介した広島県発生集中貨物の利用空港シェアを見てもわかるとおり、特に輸出貨物の広島空港の利用率は低く、9割以上が関空利用となっていますので、輸入貨物以上に輸出貨物においてハブ空港への集約化が進んでいるものと考えられます。

既に述べたとおり、航空貨物は旅客以上に特定の空港への集約化が進んでおり、広島空港取扱いの大幅な拡大は難しいのが現実です。また、地方空港における国際線の就航は小型機中心となるうえに、機材稼働率を高めるために多頻度で運航するLCCは航空貨物を取扱わないことが一般的なので、今後進めていくべきLCCの積極的誘致が必ずしも航空貨物の拡大には繋がりにくいといったジレンマもあります。

しかしながら、今年度は、国際貨物の取扱量が昨年度比約1.7倍と再び増加傾向にあり、10月末に就航したシンガポール線は航空貨物の取扱いを行っているなど明るい兆しも見えています。また、Eコマースの増加による宅配便市場の拡大なども、地域の特産品などの小口貨物の販路拡大といった視点から地方空港における航空貨物の拡大のチャンスになる可能性もあります。更に最近ではLCCでも航空貨物を取扱うケースも出てきています。

こうした点を踏まえ、航空貨物についても、今後の状況変化を見据え、路線拡充の戦略的方向性とバランスも考慮しつつ、引き続き様々な可能性を考えていきたいと思っております。

■ 広島空港の利用状況（平成30年2月）

○ 航空旅客

国内線は、前月に続いて成田線が一部運休の影響で前年度割れとなっており、単月では前年度割れとなっています。国際線は対前年度比109.1%と引き続き好調に推移しています。この結果、全体では単月では前年度並み、累計では対前年度比103.9%となっています。

路線	区分	単月（H30.2）		年度累計（H29.4～30.2）		備考		
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況(人)	前年比(%)			
国内線	東京	搭乗者数	145,784	104.8	1,869,914	104.7	H29.10.29～1便増便	
		搭乗率	73.2		74.1			
	成田	搭乗者数	11,735	56.8	195,413	88.5	H26.8.1～2便増便	
		搭乗率	81.3		71.9			
	札幌	搭乗者数	11,266	122.7	144,092	114.7		
		搭乗率	61.3		69.1			
	仙台	搭乗者数	5,540	119.9	74,666	120.7		
		搭乗率	72.6		83.0			
	沖縄	搭乗者数	9,804	92.1	122,774	98.3		
		搭乗率	64.8		68.3			
	その他国内	搭乗者数	0	—	4,154	—		
		搭乗率	-		77.1			
	国内線合計	搭乗者数	184,129	99.8	2,411,013	104.7		
		搭乗率	72.3		73.5			
国際線	ソウル	搭乗者数	5,309	89.1	54,678	111.6		
		搭乗率	68.4		59.5			
	中国路線	大連・北京	搭乗者数	3,088	130.7	35,632	117.2	H29.3.26～1便増便
			搭乗率	61.5		53.3		H29.10.30～1便減便
		上海・成都	搭乗者数	5,071	108.4	59,276	104.1	H30.3.25～成都への延伸を休止
			搭乗率	76.6		71.6		
	(小計)	搭乗者数	8,159	115.9	94,908	108.7		
		搭乗率	70.1		63.4			
	台北	搭乗者数	6,301	86.8	89,796	97.4	H27.1.1～2便増便	
		搭乗率	71.2		81.8		H28.10.30～2便減便	
	香港	搭乗者数	3,382	104.6	43,845	80.2	H27.10.27～2便増便	
		搭乗率	78.3		84.9		H28.1.28～1便増便 H28.10.30～2便減便	
	シンガポール	搭乗者数	2,479	—	12,033	-	H29.10.30就航 週3便	
		搭乗率	66.2		74.2			
	合計	搭乗者数	25,630	109.1	295,260	104.3		
		搭乗率	70.6		70.4			
	その他海外	便数(片便)	0		24			
搭乗者数		0	—	5,505	—			
搭乗率		-		-				
国際線合計	搭乗者数	25,630	109.1	300,765	105.1			
	搭乗率	70.6		70.7				
旅客合計	搭乗者数	209,759	100.9	2,711,778	103.9			
	増加人数	1,772		102,838				

○ 航空貨物

	路 線		単月 (H30.2)		年度累計 (H29.4~30.2)		備 考
			利用状況(kg)	前年比(%)	利用状況(kg)	前年比(%)	
国内線	東 京		1,320,433	95.4%	14,771,914	96.8%	
	成 田		0	—	0	—	
	札 幌		42,201	69.5%	708,889	96.1%	
	仙 台		0	—	0	—	
	沖 縄		171,331	92.3%	1,831,346	103.6%	
	国内線合計		1,533,965	94.1%	17,312,149	97.4%	
国際線	定期便	輸出	ソ ウ ル	0	—	0	0.0%
		大 連・北 京	1,337	—	46,406	842.9%	
		大 連・天 津	0	—	0	—	
		上 海・成 都	1,062	160.1%	13,156	120.1%	
		台 北	3,186	44.2%	82,237	92.5%	
		香 港	0	—	0	—	
		シンガポール	325	0.0%	635	—	
		計	5,909	75.1%	142,434	129.6%	
	輸入	ソ ウ ル	0	—	0	0.0%	
		大 連・北 京	1,960	67.2%	43,506	182.3%	
		大 連・天 津	0	—	0	—	
		上 海・成 都	2,617	18.1%	200,114	399.1%	
		台 北	848	17.4%	19,131	62.9%	
		香 港	0	—	0	—	
		シンガポール	110	0.0%	486	—	
		計	5,535	24.8%	263,237	210.1%	
	チャーター便	輸出	ソ ウ ル	0	—	0	0.0%
		大 連・北 京	3,297	113.1%	89,912	306.1%	
		大 連・天 津	0	—	0	—	
		上 海・成 都	3,679	24.3%	213,270	349.1%	
		台 北	4,034	33.4%	101,368	85.0%	
香 港		0	—	0	—		
シンガポール		435	0.0%	1,121	—		
合 計		11,444	38.0%	405,671	172.5%		
国際計	輸出	5,909	75.1%	142,434	129.6%		
	輸入	5,535	24.8%	263,237	210.1%		
	国際計	11,444	38.0%	405,671	172.5%		
	合計	1,545,409		17,717,820			

○ リムジンバス等

路線	区分	単月 (H30.2)		年度累計 (H29.4~30.2)		備考
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況	前年比(%)	
広島	乗客数	83,800	101.1	1,002,121	104.0	
	(うち平和大通り)	1,003	101.2	13,125	108.9	
	1便平均	17.5		18.0		
		4.5		5.0		
福山	乗客数	5,923	101.2	72,250	103.4	
	1便平均	0.0		9.0		
三原	乗客数	3,137	100.3	37,291	103.6	
	1便平均	5.6		5.6		
呉	乗客数	5,642	98.9	66,936	107.2	
	1便平均	8.4		9.9		
白市駅	乗客数	7,497	71.2	114,306	92.0	
	1便平均	5.2		6.6		
竹原港	乗客数	808	107.7	10,285	102.3	
	1便平均	1.9		2.0		
尾道	乗客数	467	83.4	6,559	125.6	H28.4~
	1便平均	3.6		4.2		
三次	乗客数	333	125.7	4,274	—	H28.7~
	1便平均	2.0		2.1		
西条	乗客数	3,623	—	13,741	—	H29.10~
	1便平均	6.5		5.6		
合計	乗客数	111,230	101.4	1,327,763	104.2	
	増加人数	1,534		53,621		

航空旅客数	209,759	100.9	2,711,778	103.9
増加人数	1,772	(速報値比較)	102,838	(速報値比較)
バス利用者割合(%)	53.0		49.0	

○ 駐車場

[単位：台，%，日]

駐車場名	区分	単月 (H30.2)		年度累計 (H29.4~30.2)	
		利用状況(台)	前年度比(%)	利用状況(台)	前年度比(%)
空港駐車場 1,149台	入庫台数	19,268	98.5	269,412	101.5
	1日平均	664		807	
	泊車台数	14,485	100.5	197,324	105.2
	1日平均	499		591	
	満車日数	0		32	
県営第1駐車場 593台	入庫台数	4,922	97.9	75,663	104.6
	1日平均	170		227	
	泊車台数	4,101	94.9	57,542	106.3
	1日平均	141		172	
	満車日数	0		0	
県営第2駐車場 645台	入庫台数	10,420	99.9	141,522	105.7
	1日平均	359		424	
	泊車台数	3,243	104.4	41,770	113.9
	1日平均	112		125	
	満車日数	0		0	
県営駐車場 計 1,238台	入庫台数	15,342	99.2	217,185	105.3
	1日平均	529		650	
	泊車台数	7,344	98.9	99,312	109.4
	1日平均	253		297	
	満車日数	0		0	
正広駐車場 1,426台	入庫台数	3,613	93.6	49,672	100.2
	1日平均	125		149	
	泊車台数	12,359	83.4	215,496	115.1
	1日平均	426		645	
	満車日数	0		0	
合計 3,814台	入庫台数	38,223	98.3	536,269	102.9
	1日平均	1,318		1,606	
	泊車台数	34,188	93.3	512,132	110.0
	1日平均	1,179		1,533	

注：満車日は、概ね1時間以上満車となった日を集計しており、単位は「日」。

注：正広駐車場の収容台数は、平成16年12月20日まで1172台、平成18年9月21日までは1312台。

航空旅客数 (速報値)	209,759	100.9	2,711,778	103.9
-------------	---------	-------	-----------	-------

○ 広島空港ホームページセッション数（H30.2.1～H30.2.28）

国別セッション

国	セッション	セッション率
日本	268,150	96.08%
香港	1,930	0.69%
韓国	1,605	0.58%
台湾	1,488	0.53%
アメリカ	1,367	0.49%
シンガポール	869	0.31%
中国	636	0.23%
オーストラリア	305	0.11%
タイ	266	0.10%
不明	351	0.13%
その他	2,115	0.76%
計	279,082	100.00%

市区町村別セッション

市区町村	セッション	セッション率
大阪	60,513	21.68%
広島	46,605	16.70%
新宿区	21,632	7.75%
港区	19,449	6.97%
横浜	15,920	5.70%
福山	7,403	2.65%
名古屋	6,177	2.21%
中央区	6,177	2.21%
東広島	4,974	1.78%
千代田	4,281	1.53%
その他	85,951	30.80%
計	279,082	100.00%

デバイスカテゴリ別

デバイスカテゴリ	セッション	新規セッション率
モバイル	163,456	40.84%
デスクトップ	97,224	48.05%
タブレット	18,402	47.92%

（出典）google アナリティクスから県が作成（地域別セッションは、IPアドレスをベースに判定された結果によるもの）

■ お知らせ

第12号の配信は4月下旬を予定しています。